

宇部市上下水道事業総合計画
アクションプラン
＜2018年度進捗状況＞

宇部市上下水道局

宇部市上下水道事業総合計画の進捗状況について（2018年度）

1. 進捗管理

本市上下水道事業は、「宇部市上下水道事業総合計画」の基本方針に定める「安全・安心」、「持続」、「環境対策」、「サービスの推進」、「貢献」の5つの項目に沿った24の事業について指標又は目標（以下「指標等」）を設定し、推進しています。

また、設定した指標等を実現するため、進行状況を定期的に確認し、適正な進行管理を行うことを本計画中に明示しています。

以上のことから、毎年度終了後、指標等の進捗状況や今後の取り組みについて整理を行い、これを公表します。

2. 評価方法

年度ごとの評価については、指標等の推移で評価します。

3. 2018年度の進捗状況

基本方針に定める5項目24事業に対し、38の指標等（指標：20、目標：18）を設定しており、進捗状況は、以下のとおりです。（各事業については、別紙参照）

| | 進捗状況 | 指標 | 目標 |
|---|--------------|----|----|
| A | 前倒し、もしくは事業完了 | — | 1 |
| B | 概ね予定どおり | 14 | 14 |
| C | 若干の遅れ | 4 | 1 |
| D | 大幅な遅れ | 2 | 2 |

4. 総括

2018年度については、設定した38の指標等のうち、「インドネシア国ブンカリス県の水道水質改善事業」が完了し、14の指標と14の目標において「概ね予定どおり」という評価となりました。

なお、「環境対策（未利用エネルギー活用推進事業）」として、小水力発電システムの導入を検討しましたが、水運用や施設の維持管理の観点から危機管理上の問題が大きいため導入を見送ることとしました。

また、「サービスの推進（広報活動の推進事業）」として、下水道事業も含めたモニター制度を検討していましたが、水道事業広域化を見据え、山陽小野田市と一体的な水道モニター制度を検討することとしました。

水道事業広域化の検討が加速化し、上下水道事業の一体的な計画として整備した総合計画とは、実態に乖離が生じ始めていることから、総合計画の見直しについて前倒しで検討を開始します。

今後も引き続き、各事業の目標達成に向け、更なる事業の推進に努めます。

| 基本方針1 安全・安心 | | | | | |
|---|--------|--------------------|----------------------------------|----------|------|
| (1)水道水の水質管理 | | | | | |
| ①水質管理の充実 | 浄水課 | | | 【進捗状況：B】 | |
| (具体的な対策) 宇部市と同じ厚東川を水源とする山陽小野田市と水質検査体制の共同化の協議を進め、両市で必要な水質検査機器を整備し、迅速で効率的な水質検査体制を構築します。 (2018年度の実績) 水質検査の共同化について協議し、2018年度から水質検査結果を一部共有開始しました。 (2019年度の実績) 水質検査作業を省力化するために、引き続き水質検査の共同化について協議します。 | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | | | |
| | 計画 | 協議 | 水質検査結果の共有 | | |
| | 目標 | | | | |
| 迅速で効率的な水質検査体制の構築 | | | | | |
| ①水質管理の充実 | 給排水課 | | | 【進捗状況：B】 | |
| (具体的な対策) すべての簡易専用水道・小規模貯水槽水道設置者に対して、施設の適正管理を呼び掛けるとともに、直結給水可能な設置者に切り替えを促します。 (2018年度の実績) 施設設置者へ文書を送付し指導しました。 送付件数436件(うち直結給水への切り替え等6件) (2019年度の実績) 施設設置者へ文書を送付し指導します。 送付件数430件(12月以降送付予定) | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | | | |
| | 計画 | 施設設置者へ毎年文書を送付し指導する | | | |
| | 指標 | | | | |
| 直結給水割合の向上(%) 2026年度末目標:95.2% | | | | | |
| 基準値:94.2%(2016年度) | | | | | |
| | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | |
| 目標 | 94.3 | 94.4 | 94.5 | 94.6 | |
| 実績 | 94.4 | 94.8 | | | |
| ①水質管理の充実 | 上水道整備課 | | | 【進捗状況：B】 | |
| (具体的な対策) 公道部分に埋設してある鉛管について、配水管の更新計画に合わせて、効率的な解消を進めます。また、配水管の更新計画に含まれない鉛製給水管については、漏水の事前防止として地区単位で集中的に解消を進めます。 (2018年度の実績) 鉛管解消工事として、配水管布設替工事に併せて339件、漏水修理工事に併せて46件、給水装置改造工事に併せて39件、漏水防止・鉛管対策取替工事として106件、合計530件の解消を行いました。 (2019年度の実績) 昨年同様、配水管の布設替工事に併せて、また給水管の単独取替工事により、年間約600件を解消します。 | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | | | |
| | 計画 | 団地内における鉛製給水管の解消 | 団地内及び鉛製給水管集中地区のリストアップおよび鉛製給水管の解消 | | |
| | 指標 | | | | |
| 鉛管残存率の減少(%) 2026年度目標8.6%以下 | | | | | |
| 基準値:11.5%(2016年度) | | | | | |
| | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | |
| 目標 | 10.75 | 10.5 | 10.25 | 10.00 | |
| 実績 | 10.80 | 10.09 | | | |

| (2) 施設の再構築 | | | | | |
|--|------------|----------------------|---------|----------|------|
| ① 浄水施設 | 水道広域推進室 | | | 【進捗状況:C】 | |
| (具体的な対策) 広域化基本計画に基づき、山陽小野田市と十分な協議を行い、今後の水需要に応じた浄水施設の配置、施設能力などについて十分に協議を進め、浄水場の統合と効率化を図り更新費用を抑制します。 (2018年度の実績) 技術系専門部会による浄水場統廃合案を検討委員会で審議し、提案どおり承認されました。 (2019年度の実績) 平成30年度末の資産状況を基準とし、検討委員会で承認された浄水場再編案によるアセットマネジメントを実施し、将来の更新需要を試算します。 | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | | | |
| | 計画 | 検討委員会・幹事会・専門部会における検討 | | | |
| | 目標 | | | | |
| 厚東川を水源とする広瀬(宇部市)、中山(宇部市)及び高天原(山陽小野田市)の3浄水場の再編計画を策定するとともに、これに伴う給水計画や危機管理のあり方を策定する | | | | | |
| ② 浄水施設 | 浄水課 | | | 【進捗状況:B】 | |
| (具体的な対策) 耐震診断結果を踏まえた浄水施設の耐震化及び老朽化施設の更新を推進します。 (2018年度の実績) 耐震診断結果を基に浄水施設の耐震化計画を策定しました。 また、老朽化施設の今後10年間の更新計画を策定しました。 (2019年度の実績) 広瀬浄水場2系傾斜板沈澱池の耐震補強に向け、詳細設計の委託を実施します。 また、PAC注入設備の更新に向け、詳細設計の委託を実施します。 | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | → | → | → |
| | 計画 | 耐震診断 | 更新計画策定 | 実施 | |
| | 目標 | | | | |
| 耐震化計画を策定し、施設の更新を推進する | | | | | |
| ② 配水池 | 浄水課・上水道整備課 | | | 【進捗状況:B】 | |
| (具体的な対策) 配水池の耐震診断委託を実施し、耐震化を推進します。 (2018年度の実績) 耐震診断の結果、耐震性がないことが判明した配水池8箇所について、耐震化計画を策定しました。 また、小羽山調整池の耐震補強に向け、詳細設計委託を実施しました。 (2019年度の実績) 小羽山調整池の耐震補強工事を実施します。 また、小羽山調整池以外の7池の耐震補強に向け、詳細設計委託を実施します。 | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | → | → | → |
| | 計画 | 耐震診断 | 耐震化計画策定 | 実施 | |
| | 目標 | | | | |
| 耐震化計画を策定し、施設の更新を推進する | | | | | |

| ③水道管路 | 上水道整備課 | | 【進捗状況：B・C】 | | |
|---|--|---------------------------------|------------|-------|------|
| <p>(具体的な対策) 管路の重要性や管種等を考慮し、3つの更新事業を策定し、事業を的確に進めます。 ①基幹管路更新事業…水道管として幹となるもので、耐震化を進めることで、被災時の復旧が早くなります。(年間事業費約4億円) ②ビニル管更新事業…漏水が多い管種で、昭和50年代の開発団地に多く使用されており、鉛製給水管も残存しています。(年間事業費約3億円) ③老朽管更新事業…上記以外の管路で主に法定耐用年数を経過したもので、耐震性に劣ります。(年間事業費約1億円)</p> <p>(2018年度の実績) ①基幹管路更新事業…1,751m(φ100、φ500) ②ビニル管更新事業…2,558m(φ50～φ150) ③老朽管更新事業…3,311m(φ50～φ250)</p> <p>・一部の工事が2019年度に繰越となり、目標が達成できませんでした。なお、繰越工事を含めると25.3%となります。 ・有収率が目標値を下回ったのは、旧市街地の水圧を上昇させたことによる老朽配水管及び給水管の地下漏水が主な要因と考えられます。</p> <p>(2019年度の実績) ①基幹管路更新事業…(2019年度は工事予定なし) ②ビニル管更新事業…5,015m(φ50～φ100) ③老朽管更新事業…4,846m(φ50～φ300)</p> <p>・従来の漏水調査に加え、検針による新たな漏水判定器の導入に向けた検討を行います。</p> | 実施期間 | | | | |
| | 工程 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 計画 | 基幹管路更新事業、ビニル管更新事業及び老朽管更新事業を推進する | | | |
| | 指標 | | | | |
| | 全管路耐震適合率向上(%) 2026年度末目標:32.1% | | | | |
| | 基準値:23.3%(2016年度) | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 目標 | 24.2 | 25.1 | 25.9 | 26.8 |
| | 実績 | 24.2 | 24.9 | | |
| | 指標 | | | | |
| 有収率の向上(92.00%以上) | | | | | |
| 基準値:91.47%(2016年度) | | | | | |
| | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | |
| 目標 | 92.00 | 92.00 | 92.00 | 92.00 | |
| 実績 | 89.65% | 89.59 | | | |
| ④下水処理場・下水ポンプ場 | 下水道企画室・下水道施設課 | | 【進捗状況：B】 | | |
| <p>(具体的な対策) 事業手法の見直しや施設規模の適正化・統廃合を検討するとともに、施設整備や改築・更新の優先順位を付け、中長期的な予測に基づき改築・更新を実施します。</p> <p>(2018年度の実績) ・DBO方式による玉川ポンプ場の建設に伴う詳細設計を完了しました。 ・ストックマネジメント計画に基づき、西部浄化センター、西岐波ポンプ場の改築・更新を実施しました。</p> <p>(2019年度の実績) ・玉川ポンプ場本体の土木工事及び放流口工事に着手します。 ・ストックマネジメント計画に基づき、東部・西部・楠浄化センター、八王子・常盤湖ポンプ場の調査・改築・更新を実施します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | 工程 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 計画 | 玉川ポンプ場DBO事業の実施 施設の改築・更新の実施 | | | |
| | 目標 | | | | |
| | 事業手法の見直しや施設規模の適正化・統廃合の計画を策定するとともに、改築・更新を実施する | | | | |

| | | | | | |
|--|----------------------------|-----------------------------------|------|---------|------|
| ⑤下水道管渠 | 下水道整備課 | 【進捗状況：B・C】 | | | |
| <p>(具体的な対策) 下水道管渠の腐食等のリスクが高い箇所の特検方法・頻度を明確にし、定期的な調査を行い危険箇所の早期発見に努めます。また、重要な幹線等に位置付けている下水道管渠のリスク評価を行い計画的に改築・更新を実施します。</p> <p>(2018年度の実績) ・JR軌道横断箇所を巡視点検しました。 ・宇部市公共下水道管渠調査及び維持管理業務の一部業務を民間委託し、巡視点検などにより危険箇所を早期発見しました。 ・分流地区の劣化が進んでいる管渠や法定耐用年数を超える管渠にTVカメラなどを用いた調査の実施及び緊急度判定しました。 ・合流地区の改築更新した管渠延長 L=3,549.3m</p> <p>(2019年度の実績) ・前年度に引き続き、宇部市公共下水道管渠調査及び維持管理業務の一部業務を民間委託し、巡視点検などにより危険箇所を早期発見します。 ・前年度に引き続き、分流地区の劣化が進んでいる管渠や法定耐用年数を超える管渠にTVカメラなどを用いた調査の実施及び緊急度判定します。 ・前年度に引き続き、合流地区における管渠の改築更新を実施するとともに、新たに、分流地区における管渠の改築更新を実施します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | 工程 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 計画 | 管渠調査 維持管理委託 緊急度判定による改築更新の実施 | | | |
| | 指標 | | | | |
| | 目標：道路陥没件数の減少(10件/年以下) | | | | |
| | 基準値：30件/年(2011～2015年度の平均) | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 目標 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| | 実績 | 7 | 4 | | |
| | 指標 | | | | |
| 目標：有収率の向上 2026年度目標：70.0%以上) | | | | | |
| 基準値：66.4%(2015年度) | | | | | |
| | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | |
| 目標 | 70.0 | 70.0 | 70.0 | 70.0 | |
| 実績 | 65.8 | 64.1 | | | |
| (3)危機管理対策 | | | | | |
| ①危機管理計画 | 総務企画課 | 【進捗状況：B】 | | | |
| <p>(具体的な対策) 上下水道局の危機管理指針である「危機管理計画」を適宜検証し、災害や事故が発生した場合に迅速かつ的確に対応できる体制を確保します。</p> <p>(2018年度の実績) 水道事業及び下水道事業の事業継続計画を策定しました。</p> <p>(2019年度の実績) 水道事業広域化の方向性が固まったことから、水道事業においては、広域化後の事業継続計画について検討を開始します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | 工程 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 計画 | 委員会設置 | 協議 | 策定⇒PDCA | |
| | 目標 | | | | |
| | 水道事業と下水道事業の一体的な危機管理計画を策定する | | | | |

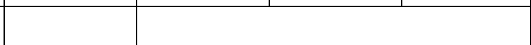
| | | | | | | |
|--|--|---|----------|------|------|--|
| ①危機管理計画 | 総務企画課 | 【進捗状況：B】 | | | | |
| <p>(具体的な対策) 「危機管理計画」の実効性を担保するため、定期的な防災訓練を実施し、災害時に迅速な行動ができるよう努めます。</p> <p>(2018年度の取組実績) 住民参加型防災訓練として、琴芝校区と見初校区で防災訓練を実施しました。 宇部市総合防災訓練にあわせ、抜き打ちの机上参集訓練を実施しました。参集結果は想定を上回るものであったため、業務継続計画の職員参集想定を修正しました。</p> <p>(2019年度の取組内容) 住民参加型防災訓練として、岬校区、二俣瀬校区、上宇部校区で防災訓練を実施します。 机上の参集訓練を抜き打ちで実施します。</p> | 実施期間 | | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | |
| | 工程 | | | | | |
| | 計画 | 校区自主防災会と連携した防災訓練の企画及び実施 危機管理検討委員会を中心とした内部訓練の企画及び実施 | | | | |
| | 指標 | | | | | |
| | 防災訓練の実施件数(内部訓練含む):2回以上/年 | | | | | |
| | 基準値:2回(2016年度) | | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | |
| 目標 | 2 | 2 | 3 | 4 | | |
| 実績 | 2 | 3 | | | | |
| ①危機管理計画 | 総務企画課 | 【進捗状況：B】 | | | | |
| <p>(具体的な対策) 防災訓練のフィードバックや事業継続計画(BCP)などの新たな考え方を取り入れながら、継続的に見直しを行います。</p> <p>(2018年度の取組実績) 水道事業は、委員会にて事業継続計画を策定しました。 下水道事業は、業務委託にて事業継続計画を策定しました。</p> <p>(2019年度の取組内容) 定期的にPDCAの視点で事業継続計画を検証し、必要であれば改訂します。</p> | 実施期間 | | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | |
| | 工程 | | | | | |
| | 計画 | 検討 | 策定⇒PDCA | | | |
| | 目標 | | | | | |
| | 上下水道事業継続計画を策定する | | | | | |
| | ②雨水の浸水対策 | 下水道企画室・下水道整備課 | 【進捗状況：C】 | | | |
| | <p>(具体的な対策) 浸水常襲地域の雨水整備に継続して取り組むと同時に、パトロールの強化なども並行して取り組みます。 気候変動等に伴う局地的大雨の対策として、ハード・ソフト・自助の組み合わせで浸水被害を最小化する事業を実施します。</p> <p>(2018年度の取組実績) ・五十目山、琴芝、八王子の雨水整備及び中川15号雨水幹線の設計業務を実施しました。</p> <p>(2019年度の取組内容) ・琴芝、八王子の雨水整備及び中川15号雨水幹線の事業用地を取得します。 ・住民からの配布要望に対応するため、「土のう」を備蓄します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | |
| 工程 | | | | | | |
| 計画 | | 雨水整備の実施 | | | | |
| 指標 | | | | | | |
| 浸水対策重点整備地域の事業進捗率向上(%) 2026年度末目標:95.9% | | | | | | |
| 基準値:23.9%(2016年度) | | | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | |
| 目標 | 27.7 | 38.8 | 49.1 | 61.1 | | |
| 実績 | 27.7 | 30.3 | | | | |

| | | | | | |
|---|-------------------------------|---|------|------|------|
| ③陥没事故防止 | 下水道整備課 | 【進捗状況:C】 | | | |
| <p>(具体的な対策) これまでの管路調査結果や陥没履歴、地域特性などの情報を集約して共有することで、早急に対処すべき管路施設を適確に把握していきます。また、管路調査の対象区域を広げて更新を実施することで陥没事故等を未然に防止します。</p> <p>(2018年度の実績) ・合流区域を中心とした下水道整備区域内の下水道管渠を巡視、点検しました。 ・分流地区の劣化が進んでいる管渠や法定耐用年数を超える管渠にTVカメラなどを用いた調査の実施及び緊急度を判定しました。</p> <p>(2019年度の実績) ・前年度に引き続き、合流区域を中心とした下水道整備区域内の下水道管渠を巡視、点検します。 ・前年度に引き続き、分流地区の劣化が進んでいる管渠や法定耐用年数を超える管渠にTVカメラなどを用いた調査の実施及び緊急度を判定します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | 工程 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 計画 | 下水道整備区域内の巡視、点検 分流区域の管路調査 分流区域の緊急度判定 | | | |
| | 指標 | | | | |
| | 目標:調査区域の拡大 合流区域⇒分流区域 | | | | |
| | 基準値:0.0km(2017年度分流地区未実施) | | | | |
| | 実績 | — | 20.0 | 27.0 | 27.0 |
| ④情報管理体制の充実 | 全課 | 【進捗状況:B】 | | | |
| <p>(具体的な対策) お客様情報の管理・取扱い上、特に注意しなければならない事項を洗い出し、そのリスク低減措置を検討します。低減措置策として管理・取扱方法をマニュアル化するとともに、職員への研修を実施します。</p> <p>(2018年度の実績) 口座振替依頼書と職員の個人情報の保管場所を整備し、出入口の施錠管理を徹底しました。</p> <p>(2019年度の実績) ・職員に対する個人情報取扱事務の研修を実施します。 ・個人情報の管理取扱マニュアル策定に取り組みます</p> | 実施期間 | | | | |
| | 工程 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 計画 | 個人情報保管場所の整理 個人情報取扱実態調査 管理取扱マニュアルの策定(2020年度) | | | |
| | 目標 | | | | |
| お客様情報の管理・取扱方法をマニュアル化する | | | | | |
| ⑤技術継承 | 総務企画課 | 【進捗状況:B】 | | | |
| <p>(具体的な対策) 人材育成計画に基づき、計画的で効果的な研修を進め、上下水道職員としての知識の継承を図るとともに、非常事態にも迅速に対応できる職員の危機管理能力や技術の向上に努めます。</p> <p>(2018年度の実績) 各部署主催の内部研修を実施しました。 講座数:8、参加職員:延べ150人 外部講師による局内研修を実施しました。 講座数:1、参加職員:延べ72人</p> <p>(2019年度の実績) ・外部講師等による研修を実施します。 ・職員アンケートなどにより、研修メニューを充実させます。</p> | 実施期間 | | | | |
| | 工程 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 計画 | 研修等の実施 | | | |
| | 指標 | | | | |
| | 職員1人当たりの研修受講時間(分) | | | | |
| | 基準値:160分(直近3か年(2014~2016年)平均) | | | | |
| | 実績 | 300 | 202 | 200 | 210 |

| 基本方針2 持続 | | | | | |
|--|---------------------------|--|----------|-------|-------|
| (1)経営基盤の強化 | | | | | |
| ①収入の確保 | 営業課 | | 【進捗状況:B】 | | |
| <p>(具体的な対策) 未収金回収策として、水道料金・下水道使用料については、これまでの未納者への指導強化、口座振替の推進、無届転出防止の対策に加え、平成29年(2017年)1月から導入しているコンビニ収納の実施により未収金回収の向上に努めます。</p> <p>(2018年度の取組実績) ・滞納者への指導強化を行うとともに、一括納付困難者へは納付誓約書による分割納付で回収に努め、併せて無届転出者の追跡調査を行った結果、収納率が前年度より0.24ポイント向上しました。</p> <p>(2019年度の取組内容) ・引き続き、滞納者に対し指導強化を行うとともに、納付誓約書による分割納付で早期回収に努めます。 ・無届転出の防止及び無届転出者の追跡調査、口座振替推進の取組を継続して行います。</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | | | |
| | 計画 | 口座振替の促進、無届転出の防止、未納者への指導強化 納付誓約書による分割納付で回収 無届転出者の居所調査 | | | |
| | 指標 | | | | |
| | 水道料金・下水道使用料の収納率99.9%以上 | | | | |
| | 基準値:99.8%(2015年度) | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 目標 | 99.9 | 99.9 | 99.9 | 99.9 |
| | 実績 | 99.9 | 99.9 | | |
| ①収入の確保 | 下水道整備課 | | 【進捗状況:B】 | | |
| <p>(具体的な対策) 受益者負担金については、関係職員で臨戸訪問する収納強化月間を設定し、収入未済額の減少を図ります。</p> <p>(2018年度の取組実績) ・現年度分について、督促納期後、ただちに未納者に電話及び訪問による納付指導を実施しました。 ・過年度分について、年3回(7月・9月・11月)の文書催告を行うとともに、電話及び訪問による納付指導を強化しました。 ・収納課等の強制徴収公債権の担当課から情報収集しました。</p> <p>(2019年度の取組内容) ・事前にパンフレットを配布して、受益者負担金制度について周知して、期限内納付への理解と協力を推進します。 ・前年度に引き続き、電話、訪問、文書催告を行い、納付指導を継続します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | | | |
| | 計画 | 未納者に対する納付指導 | | | |
| | 指標 | | | | |
| | 目標:収納率97.2%以上 | | | | |
| | 基準値:97.2%(2013~2015年度の平均) | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 目標 | 97.20 | 98.41 | 98.42 | 98.43 |
| | 実績 | 98.76 | 99.53 | | |

| ①収入の確保 | 給排水課・下水道整備課 | | 【進捗状況:B】 | | |
|---|-------------------|--|----------|------|------|
| <p>(具体的な対策) 下水道普及地域内の未利用者へ下水道の接続促進により、新たな収入確保に努めます。</p> <p>(2018年度の実績) ・汚水整備工事の着手前に地元説明を実施して、水洗化を促すパンフレットの配布と説明を実施しました。 ・2015年度に汚水管工事を布設し整備した汚水柵96個の内、供用開始後3年目になる未水洗の28個の世帯に対して、個別訪問を行い、未水洗の聞き取り調査及び水洗化を促すパンフレットの配布による公共下水道への接続を依頼しました。 ・下水道台帳と水道料金システムを突合し、未接続戸数の確認を実施するとともに、供用開始後3年を経過した264戸の世帯に対し、現地確認及び公共下水道への接続を依頼しました。</p> <p>(2019年度の実績) ・前年度に引き続き、汚水整備工事の着手前に地元説明を実施して、水洗化を促すパンフレットの配布と説明を実施します。 ・供用開始後3年目の未水洗の世帯に対して個別訪問を行い、未水洗に対する聞き取り調査及び公共下水道への接続のお願いを実施します。 ・供用開始後3年を経過した世帯の水洗化と未水洗を調査するとともに、週に1度、水洗化促進強化日を定めて未水洗の世帯に対して個別訪問を行い、未水洗に対する聞き取り調査及び公共下水道への接続のお願いを実施します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | | | |
| | 計画 | 汚水工事着手前の地元説明 水洗化、未水洗の調査 個別訪問・聞き取り・接続依頼 | | | |
| | 指標 | | | | |
| | 水洗化率向上(対前年度比) | | | | |
| | 基準値:95.5%(2016年度) | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 目標 | 95.5 | 95.9 | — | — |
| | 実績 | 95.9 | 96.2 | | |


| | | | | | |
|--|------------------------------|------------------------------|------|------|------|
| ①収入の確保 | 上水道整備課 | 【進捗状況:D】 | | | |
| <p>(具体的な対策) 上下水道普及地域内の未利用者へ上水道の接続促進により、新たな収入確保に努めます。</p> <p>(2018年度の実績) 上水道へ接続工事を実施されていない方(47名)へのアンケートを実施しました。 (アンケートの結果、ほとんどの方が井戸水が豊富であり、家族数も少なく生活に支障はないので、今後必要な時に実施したいとのこと。)</p> <p>(2019年度の実績) アンケートの連絡不能な方への現地確認、また接続見込みのある方への個別訪問により、早期の接続依頼を行います。</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | | | | |
| | 計画 | 個別訪問・聞き取り・接続依頼 | | | |
| | 指標 | | | | |
| | 個別訪問件数: 件/年 2026年度末目標: 10件以上 | | | | |
| | 基準値: 実績なし | | | | |
| | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | |
| 目標 | 10 | 10 | 10 | 10 | |
| 実績 | 0 | 2 | | | |
| ②適正な経費負担区分を前提とした独立採算の原則【下水道事業】 | 財務課 | 【進捗状況:B】 | | | |
| <p>(具体的な対策) 市財政の健全化及び下水道経営の自立を進め、適正な収入の確保、経営の合理化に努めます。</p> <p>(2018年度の実績) 2019年度当初予算策定作業において、一般会計繰入金における繰出基準外経費等を削減しました。</p> <p>(2019年度の実績) 引き続き、来年度当初予算策定作業において、一般会計繰入金の見直しに取り組みます。</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | | | | |
| | 計画 | 当初予算策定時における一般会計繰入金の見直しに向けた検討 | | | |
| | 目標 | | | | |
| 本市独自の繰出基準の見直し | | | | | |

| ③投資の平準化 | 財務課 | | 【進捗状況:B】 | | |
|--|------|--|---|------|------|
| <p>(具体的な対策) アセットマネジメントを導入し、投資・維持管理をマネジメントすることにより収支バランスのとれた経営と資産状態の健全化の両立を図ります。</p> <p>(2018年度の実績) 2017年度決算に係る「経営指標」の実績値について、「経営の健全性・効率性」の状況に係る主な指標を事業年報において公表しました。 水道事業・下水道事業とも、当期の資金繰りは良好であり、短期の支払能力も十分であることから、経営状況は健全性を保っていると言えます。 資産においては、水道事業・下水道事業とも供用開始から長期間が経過し、耐用年数を経過した資産が増加していることから、老朽化度が経年的にやや上昇傾向にあります。 これらの更新需要に対し、積極的に管路・管渠の改築に取り組んできたことから、類似団体との比較においては高い水準にあるものの、決して十分とはいえず、引き続き改築更新に取り組んでいく必要があります。</p> <p>(2019年度の実績) ・2018年度決算に係る「経営指標」の実績値について、「経営の健全性・効率性」の状況に係る主な指標を事業年報において公表します。 ・2018年度決算の経営比較分析表を局ホームページで公表するとともに、分析を行います。 ・前年度に引き続き、投資計画に計上している改築更新事業等を着実に進め、経営指標のさらなる向上に取り組めます。</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 |  | | | |
| | 計画 | 「経営指標」実績値の公表 | ・「経営指標」実績値の見える化 ・5年後を目途にした財政収支計画表の見直し(2021年度中) | | |
| | 目標 | | | | |
| 収支バランスのとれた経営と資産状態の健全化の継続的な両立 | | | | | |

| ④定員管理の適正化 | 総務企画課 | 【進捗状況:B】 | | | |
|---|--------------------------------|----------|------------|------|------|
| <p>(具体的な対策) 組織の見直し、業務の効率化、嘱託・再任用制度の活用等により職員数の適正化を図ります。</p> <p>(2018年度の実績) 定員適正化計画の推進として、業務のあり方を見直し、2名を減員しました。 職員数:2017年度当初 199人 2018年度当初 197人</p> <p>(2019年度の実績) 引き続き定員適正化計画を推進するため、組織機構の見直しを検討します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | | | | |
| | 計画 | 人員体制の最適化 | | | |
| | 指標 | | | | |
| | 職員数(人) | | | | |
| | 基準値:201人(2016年度) 2026年度目標:180人 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 目標 | 199 | 197 | 192 | 191 |
| | 実績 | 199 | 197 | | |
| (2)広域化・最適化の検討と推進 | | | | | |
| ①水道事業広域化 | 水道広域推進室 | 【進捗状況:B】 | | | |
| <p>(具体的な対策) 宇部市と山陽小野田市は、両市とも厚東川を水源としており、広域化による効果が大きいと見込まれるため、業務の共同化や経営の一体化など広域化の協議を進めます。</p> <p>(2018年度の実績) 薬品の共同購入や水質検査業務の一部共同化を開始しました。 また、広域化の協議を引き続き行い、浄水場の再編案や広域化の形態について検討委員会で承認されました。</p> <p>(2019年度の実績) ・専門部会を設置し、事務事業の統一方法等について協議します。 ・広域化のスケジュールや水道料金の統一方法などについて協議します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | | | | |
| | 計画 | 協定書締結 | 共同化可能事業の検討 | | |
| | 指標 | | | | |
| | 共同化業務総件数(件) 2026年度目標:18件以上 | | | | |
| | 基準値:2件(2018年度実施予定件数) | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 目標 | — | 2 | 4 | 6 |
| | 実績 | — | 2 | | |

| | | | | | |
|--|---------------|------------------------|--|----------------|---------------|
| ②集合処理・個別処理の区域の見直し | 下水道企画室 | | 【進捗状況：B】 | | |
| <p>(具体的な対策) コンパクトなまちづくりに合わせ、汚水の集合処理・個別処理の区域を見直し、汚水処理施設整備構想及び下水道事業計画について、整備予定区域の縮小を検討します。</p> <p>(2018年度の実績) 上下水道事業検討委員会を開催し、委員会からの提言を受け、集合処理と個別処理の費用比較を行い、下水道整備区域の見直しを検討しました。</p> <p>(2019年度の実績) 上下水道事業検討委員会からの提言を踏まえ、事業計画区域の見直しについて地元説明会を実施します。また、事業計画の変更業務を発注します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | | | | |
| | 計画 | 検討委員会による下水道整備区域の見直しを議論 | 整備区域の見直し方針決定 | 事業計画の変更業務の発注 | 汚水処理構想見直し業務発注 |
| | 目標 | | | | |
| 最適な汚水処理方法の見直し | | | | | |
| (3)民間活力の活用 | | | | | |
| ①施設運営の委託 | 下水道企画室・下水道施設課 | | 【進捗状況：B】 | | |
| <p>(具体的な対策) 西部浄化センターについては、今後予定している玉川ポンプ場の維持管理業務委託と合わせた民間委託の効率性について検討します。</p> <p>(2018年度の実績) ・西部処理区コンセッションに向けた情報整備調査委託を実施しました。 ・官民連携による効率的な下水道事業運営の推進に向けたあり方勉強会を実施しました。</p> <p>(2019年度の実績) 官民連携の勉強会を実施するとともに、官民連携に関するサウンディング等を実施し、民間委託手法を検討します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | | | | |
| | 計画 | 西部処理区コンセッション事業の導入可能性調査 | 西部処理区コンセッションに向けた情報整備調査及び下水道事業運営に関するあり方勉強会を実施 | 民間委託手法の検討 | 委託手法に合わせた導入調整 |
| | 目標 | | | | |
| 民間委託を検討し、より効率的な施設運営を行う | | | | | |
| ②事業手法の検討 | 下水道企画室 | | 【進捗状況：B】 | | |
| <p>(具体的な対策) 下水道事業の実施にあたっては、国の方針を踏まえてPPP/PFI等の事業手法の導入を検討します。</p> <p>(2018年度の実績) 官民連携の導入可能性調査に向けた事業スケジュール、条件整理、資料収集等を実施しました。</p> <p>(2019年度の実績) 芝中ポンプ場PPP/PFI等の事業手法の導入可能性調査業務を発注します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | | | | |
| | 計画 | DBO方式による玉川ポンプ場事業者決定 | 芝中ポンプ場PPP/PFI等の事業手法の導入の検討 | 事業手法に合わせた導入手続き | |
| | 目標 | | | | |
| PPP/PFI等の事業手法導入を検討し、より効率的な施設運営を行う | | | | | |

| 基本方針3 環境対策 | | | | | |
|--|--|------------------------|--------------------|---------------------------------|------------------|
| (1)環境対策 | | | | | |
| <p>①放流水の水質管理</p> <p>(具体的な対策) 高度処理施設を導入するとともに水質測定回数を増やし、処理状況や測定結果を分析します。その結果を運転管理に反映することにより、放流先の水域への窒素・リンの影響を軽減します。</p> <p>(2018年度の実績) 高度処理施設の試運転開始にともない、採水箇所、検査項目を増やしました。 ・採水箇所 16箇所追加 : 50箇所 → 66箇所 ・検査項目 143項目追加 : 612項目 → 755項目</p> <p>(2019年度の実績) 前年度の水質測定結果を参考に処理施設の運転管理を行い、放流水質を適正に管理します。</p> <p>【水質検査内容】 ・採水箇所 66箇所 ・検査項目 755項目</p> | 下水道施設課 | | 【進捗状況:B】 | | |
| | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | | | |
| | 計画 | 新施設建設(完了) | 新施設試運転開始 検査項目追加 | 新施設本格稼働 放流水質適正管理 | 放流水質適正管理 |
| | 指標 | | | | |
| | 水質汚濁防止法 総量規制基準値の遵守 17.5mg/L以下(2017年度まで) 16.6mg/L以下(2018年度から) | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 目標 | 窒素 17.5mg/L以下 | 窒素 16.6mg/L以下 | 窒素 16.6mg/L以下 | 窒素 16.6mg/L以下 |
| | 実績 | 窒素 13.1mg/L | 窒素 11.1mg/L | — | — |
| <p>②環境負荷の軽減</p> <p>(具体的な対策) 各施設における設備及び機器の計画的な補修、更新等を行うとともに、更新時には十分な調査研究を行い、高効率で低負荷な機器を導入し、温暖化防止に努めます。</p> <p>(2018年度の実績) ・新設した5・6系処理施設の本格稼働に伴い使用電力が増加しました。 ・No.3消化槽から消化ガス発電施設までの配管に不具合が生じたため、No.2消化槽の稼働を年度末まで継続せざるを得ませんでした。</p> <p>(2019年度の実績) ・ブローアを更新します。(2基を廃止し、1基新設)</p> | 下水道施設課 | | 【進捗状況:D】 | | |
| | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | | | |
| | 計画 | 場内街灯LED化 エアコン更新 | No.2消化槽廃止 | ブローア更新 2基廃止 ↓ 1基新設 | 消化ガス発電施設の効率的運転 |
| | 指標 | | | | |
| | エネルギー使用に係る原単位改善(対前年度比) | | | | |
| | 基準値:エネルギー原単位(GJ)前年比1%改善 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 目標 | 1811 | 1868 | 前年GJの99% | 前年GJの99% |
| 実績 | 1887GJ 前年比103.2% | 2186GJ 前年比115.8% | — | — | |

| ③未利用エネルギーの活用推進 | 上水道整備課・下水道企画室 | | 【進捗状況:D】 | | |
|--|---------------|--|-------------------------|----------------------|------|
| <p>(具体的な対策) 下水熱利用や小水力発電設備を導入することにより、環境負荷軽減を図ります。</p> <p>(2018年度の実績) 宇部市内の配水池のうち南側調整池の流入ポイントを適地とし、協力企業のサポートを受けて小水力発電設備の導入について検討しました。導入に向けた諸条件や課題等を局議で諮った結果、水運用や施設の維持管理などを所管する部署において不安があることから、今回の導入は見送ることとしました。</p> <p>(2019年度の実績) なし</p> | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 |  | | | |
| | 計画 | 下水熱利用のPR | 小水力発電システム導入にむけての現地調査、検討 | 小水力発電システム導入にむけての実施協議 | |
| | 目標 | | | | |
| 下水道熱利用及び小水力発電導入の検討 | | | | | |

| 基本方針4 サービスの推進 | | | | | |
|---|--|----------------------------------|------|----------|----------|
| (1)効果的な広報戦略 | | | | | |
| ①広報活動の推進 | 総務企画課 | | | 【進捗状況：B】 | |
| (具体的な対策) 水道アンケート、水道モニター研修会及び施設見学などを通じて得たお客様ニーズを把握し、ホームページや「すすいだより」を通じて、積極的な情報提供を進めます。 (2018年度の実績) ホームページや「上下水道局からのお知らせ」等による積極的な情報提供を実施しました。 (2019年度の実績) 引き続き、ホームページや「上下水道局からのお知らせ」等による積極的な情報提供を推進します。 | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | | | |
| | 計画 | 積極的な情報提供の推進 | | | |
| | 指標 | | | | |
| | ホームページでの情報提供件数(件/年) | | | | |
| | 基準値:43件(2016年度) | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 目標 | 43 | 45 | 47 | 49 |
| | 実績 | 46 | 47 | | |
| ①広報活動の推進 | 総務企画課・下水道企画室 | | | 【進捗状況：D】 | |
| (具体的な対策) 下水道事業も含めたモニター制度を検討します。 (2018年度の実績) 水道事業広域化の検討が加速化したことから、下水道事業も含めたモニター制度の企画、募集要綱等の見直しは見送りました。 (2019年度の実績) 水道モニター行事に下水道職員の積極的な参加を促します。また、水道事業広域化を見据え、山陽小野田市と一体的な水道モニター制度を検討します。 | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | → | | | |
| | 計画 | 上下水道モニター制度の企画 | | | 実施 |
| | 目標 | | | | |
| | 上下水道モニター制度の実施 | | | | |
| | ①広報活動の推進 | | | | |
| | (具体的な対策) 2017年度から、市内24校の小学生を対象とした水道に関する授業を推進します。 (2018年度の実績) 市内24校に実施依頼文を送付し、結果15校で実施しました。 (2019年度の実績) 市内24校に実施依頼文を送付し、昨年度以上の実施を目指します。 | 総務企画課 | | | 【進捗状況：B】 |
| | | 実施期間 | | | |
| | | | 2017 | 2018 | 2019 |
| 工程 | | → | | | |
| 計画 | | 市内24校に実施依頼文を送付し、4学年主任に電話で実施を依頼する | | | |
| 指標 | | | | | |
| 水道に関する授業実施件数(4校以上/年) | | | | | |
| 基準値:4校(2016年度) | | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| 目標 | | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 実績 | 9 | 15 | | | |

| 基本方針5 貢献 | | | | | |
|---|---------------------------------------|--------------------------|-------------|------|------|
| (1)国際貢献 | | | | | |
| ①技術協力 | 給排水課、浄水課 | | 【進捗状況:A】 | | |
| (具体的な対策) JICA 草の根技術協力事業を通じて「インドネシア国ブンカリス県」の水道水質の改善を図ります。 終了期間 平成31年2月 (2018年度の実績) ・4月に専門家1人の派遣を行い2017年に指導した改善点の進捗状況を確認しました。 ・9月にインドネシアブンカリス県職員6人を受け入れ、適正ジャーテストの使用法や色濁計の使用法を指導しました。 ・11月に専門家3人を派遣しJICA国際協力目標を確認しました。 ・2月に専門家1人を派遣しインドネシア国公共事業・住宅省に事業終了の報告を行いました。 (2019年度の実績) なし | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | →→→→→ | | | |
| | 計画 | 施設・薬品注入改善 | 施設改善、目標達成確認 | | |
| | 目標 | | | | |
| | 水道水質の改善(市民アンケートによる市民満足度30%の上昇) | | | | |
| ①技術協力 | 浄水課・下水道施設課 | | 【進捗状況:B】 | | |
| (具体的な対策) 宇部市が受け入れた研修生に対し、浄水場や下水処理場等への視察を受け入れ、宇部市の上下水道技術を世界に向けて紹介します。 (2018年度の実績) ・5月に山口大学大学院理工学研究科研修インドネシア1人に対し、水道事業全般の講義及び上下水処理場施設見学を実施しました。 ・12月にJICA青年研修インドネシア14人に対し、水道事業全般の講義及び浄水場施設見学を実施しました。 ・2月に女学校修学旅行学習の一環として、インドネシア26人に対し、水道事業全般の講義及び浄水場施設見学を実施しました。 (2019年度の実績) ・6月に宇部IECA主催「環境国際セミナー」でブンカリス県水道水質改善事業の成果報告を行います。 ・6月に山口大学大学院創成科学研究科研修インドネシア2人に対し、水道事業全般の講義及び上下水処理場見学を実施します。 ・6月に山口大学循環環境工学科研修インドネシア4人、タイ2人に対し、浄水場施設見学を実施します。 ・9月に山口大学循環環境工学科研修インドネシア10人に対し、浄水場施設見学を実施します。 | 実施期間 | | | | |
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 工程 | →→→→→ | | | |
| | 計画 | 毎年度、市環境政策課、宇部IECAと連携協力する | | | |
| | 目標 | | | | |
| | 宇部市の水処理、下水処理技術の諸外国へ紹介し、諸外国の技術力アップを目指す | | | | |

| ①技術協力 | 給排水課 | | 【進捗状況:B】 | | |
|---|---|---------------|----------|------|------|
| <p>(具体的な対策) 新水道ビジョンに掲げる国際貢献に基づき、JICA 技術協力事業の研修員を受け入れ、技術協力に貢献します。</p> <p>(2018年度の実績) 要請はありませんでした。</p> <p>(2019年度の実績) 宇部環境国際協力協会が主催する2019年度第1回環境国際セミナー「典型的な熱帯泥炭地ブンカリス地区における水道水質の改善事業(JICA草の根技術協力事業)の成果」について講師を派遣します。</p> | 実施期間 | | | | |
| | 工程 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
| | 計画 | 毎年度、JICAと協議する | | | |
| | 目標 | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・講師の派遣 ・施設視察の受入れ | | | | |